

## ConfVisor : コンベンションプランナー業務管理システム

○松尾 徳朗 \*1)

## ■キーワード コンベンションビジネス、インバウンドツーリズム、MICE

1. コンベンションビジネスフローを実際の業務に基づき類型化
2. 実務で利用可能な業務管理システムを設計、実装、運用
3. コンベンションプランナー業務の効率化が実現

## ■研究内容

コンベンションプランナーにとって、誘致から開催までには膨大かつ煩雑な業務が含まれている。さらに、イベント参加者数ベースの損益分岐点も存在しており、業務のみならず財務マネジメントの側面においても十分な知識が必要とされる。参加者を確保するためには、コンベンション参加者の参加モチベーションを理解した運営とサービス提供が必須となる<sup>[1] [2] [3]</sup>。また、処理すべき業務間にはサービスの品質向上と関連した業務順序が存在しており、今後の我が国のコンベンション件数増加のためには、コンベンションプランナーが継続してイベントを開催する仕組みが必要である。その方策の一つとしてコンベンションプランナーの業務負担を軽減することが望まれる。多くの場合、コンベンションプランナーの不要な業務発生は、コンベンションプランナーの業務とサービスに関する知識不足に起因することが多く、これらの現状と問題を克服するための支援が望ましい。そこで、著者らは新規にコンベンションプランナーの業務を管理し、コンベンションのための標準的マニュアルを提供するシステム ConfVisor を開発し、サービスを提供している<sup>[4]</sup>。

ConfVisor では、コンベンションの準備において、時期に応じて実施する業務情報を提示する。もし、コンベンションプランナーがある業務の実施を忘れていた場合、よりコンベンションが成功に近づくように、その業務遂行時期を適切な順序で提示する。ミスコミュニケーションによる事業失敗や業務実施忘れなどを回避するために、コンベンション責任者は、全ての委員業務をモニタリングできる。本システムは、ポータル画面からユーザ登録することにより開始される。ユーザ登録後に、コンベンションプランナーはイベント情報を登録でき、その情報に基づいてスケジュールが自動的に構成される。イベント情報を登録した後のコンベンションプランナー用のトップ画面が表示される(図1)。この画面は、ユーザごとにそれぞれの開催予定のコンベンションについて表示され、他のコンベンションプランナーが実施するイベントは表示されない。また、コンベンションの性質に応じてタスクが適切に選択され、必要となる業務が表示される(図2)。ここでは、業務とごとに、業務実施担当、業務名、実施期限などが表示される。各業務は、その概要と実施手順が詳細に記載されており、業務を適切に遂行可能となる(図3)。



図1. トップ画像



図2. 業務リスト



図3. 業務マニュアル

## 参考文献

- [1] M. Oppermann, K. Chon, Annals of Tourism Research, Vol.24, No.1, pp.178-191 (1997)  
 [2] Y. Kim, Y. Lee, C. Love, Journal of Convention & Event Tourism, Vol.10, No.3, pp.211-230 (2009)  
 [3] J. Choi, Journal of Convention & Event Tourism, No.6, No.4, pp.65-80 (2004)  
 [4] T. Matsuo, T. Fukushima, International Congress on Advanced Applied Informatics (2015) (to appear)

\*1) 産業技術大学院大学